記者発表資料

平成 ２６ 年 １１ 月7 日
国土交通省 東北地方整備局
新庄河川事務所

「心に残る砂防ダム写真」受賞作品決定
～受賞者の表彰式を行います～

この度、新庄河川事務所では、砂防事業についての理解を深めていただくとともに、砂防ダム（砂防堰堤）が織りなす素晴らしい景観等を再認識していただければと考え、心の故郷として思える砂防ダムの映る美しい風景や自慢したい砂防ダムが映るベストショットを募集しました。

その結果、県内外より７８点の作品の応募があり、１０月３１日に厳正に審査を行った結果、次の方が選定されました。（審査会の概要は別紙のとおり）

最優秀賞	「きのこの川」	太田　稔	（山形県最上町）
優秀賞	「このせせらぎを次の世代へ」	甲州　正一	（山形県戸沢村）
優秀賞	「咆哮」	川北　和義	（山形県東根市）
入選	「水とあそぶ」	上野　兼雄	（山形県鶴岡市）
入選	「不忘の流れ」	五十嵐　貞一	（山形県鶴岡市）
入選	「夕暮れ」	早坂　武弘	（山形県尾花沢市）
入選	「初秋の温泉街と砂防ダム」	佐藤　正隆	（宮城県仙台市）

※受賞作品は、事務所エントランスホールに展示中

また、表彰式を次のとおり実施します。

〇表彰式について
（１）日時　　平成２６年１１月２６日（水）１３時３０分～１４時００分
（２）場所　　新庄河川事務所　大会議室（２階）
　　新庄市小田島町５－５５　電話 0233-22-0251（代表）

入賞作品については下記特設サイトに掲載しています。
特設サイト　http://www.thr.mlit.go.jp/shinjyou/20_photo/

＜発表記者会：県政記者クラブ、酒田市役所記者室記者クラブ、新庄新聞放送記者会＞

＜問い合わせ先＞
国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所
〒996-0071　新庄市小田島町 5-55
℡ 0233(22)0251（代）
副 所 長　佐藤（さとう）　勝美（かつみ）（内線 205）
建設専門官　高橋（たかはし）　太（ふとし）（内線 271）

心に残る砂防ダム写真

審査結果

この度、新庄河川事務所では、砂防事業についての理解を深めていただくとともに、砂防ダム（砂防堰堤）が織りなす素晴らしい景観等を再認識していただければと考え、心の故郷として思える砂防ダムの映る美しい風景や自慢したい砂防ダムが映るベストショットを募集しました。

その結果、県内外より７８点の作品の応募があり、１０月３１日に厳正に審査を行った結果、次の方が選定されました。

最優秀賞

「きのこの川」
太田　稔（山形県最上町）



舛玉砂防堰堤

優秀賞

「このせせらぎを次の世代へ」
甲州　正一（山形県戸沢村）



鹿の沢砂防堰堤

優秀賞

「咆哮」
川北　和義（山形県東根市）



六渕砂防堰堤

入選

「水とあそぶ」
上野　兼雄（山形県鶴岡市）



戸沢川砂防堰堤＋流路工

入選

「不忘の流れ」
五十嵐　貞一（山形県鶴岡市）



瀬場砂防堰堤

入選

「夕暮れ」
早坂　武弘（山形県尾花沢市）



肘折砂防堰堤

入選

「初秋の温泉街と砂防ダム」
佐藤　正隆（宮城県仙台市）



肘折砂防堰堤

別　紙

「心に残る砂防ダム写真」審査会の概要

1. 実施日等

(1)実施日　　平成26年10月31日(金)13時30分～
(2)場　所　　新庄河川事務所　大会議室(2階)

2. 写真応募状況

(1)応募者数　34人
(2)応募点数　78点

3. 賞

賞の名称	選定数	記念品
最優秀賞	1点	別　紙
優秀賞	2点	
入　選	4点	

4. 審査委員会

区　分	所　属
審査委員長	新庄河川事務所長
審査委員	山形県県土整備部長
審査委員	鶴岡市長
審査委員	西川町長
審査委員	金山町長
審査委員	真室川町長
審査委員	大蔵村長
審査委員	戸沢村長
審査委員	庄内町長
審査委員	株式会社山形新聞社　最北総支社長
審査委員	特定非営利活動法人　NPOもがみ　理事

5. 審査基準

次の点を審査の視点にします。
(1)テーマ性
(2)目的性
(3)主題性
(4)表現性



審査状況

受賞者への記念品

提供元	記　念　品　（数量は各１セット）	
鶴岡市	月山ワイン詰め合わせ（720ml×2本）	
西川町	月山自然水1箱（500ml×24本入）	
金山町	金山杉で製作された「楽チェア」	
真室川町	純粋天然はちみつ＆つや姫スナックセット	
大蔵村	やまがた地鶏セット 「ワイン漬」・「みそ漬」（各約600g）	
戸沢村	エゴマ製品詰合セット	
庄内町	庄内産つや姫5kg	